

災害対策用機械の 派遣要請について

令和3年1月

総括室 総括班

企画室 機械班、情報通信班

1. 派遣可能な災害対策用機械
2. 要請手順
3. 要請前に確認すること
4. 【参考】災害対策用機械配備状況図

1. 派遣可能な災害対策用機械

(1) 排水・水防支援

排水ポンプ車
(30m³ / min)



- ・設営重機不要(人力設置)
- ・ポンプ水深1m程度必要
- ・ホース長(標準)50m
- ・揚程8m程度まで
- ・連続運転時間約10～12h

排水ポンプ車
(30m³ / min高揚程)



- ・設営重機不要(人力設置)
- ・ポンプ水深1m程度必要
- ・ホース長(標準)50m
- ・(30m³/min使用時) 揚程20m程度まで
- ・(60m³/min使用時) 揚程10m程度まで
- ・連続運転時間約9h

土のう造成機



・能力 280～360袋 / h



・能力 180袋 / h

- ・設営用4.9tユニック付トラック必要
- ・機械専用土のう袋
- ・アルミクリップ結束方式
- ・要材料手配(砂、土砂)

(2) 夜間作業支援

照明車(伸縮ポール式)



- ・風速10m/sまで
- ・電源供給可(100V/200V)
- ・連続運転時間約20h

照明車(伸縮ブーム式)



- ・風速10m/sまで
- ・橋梁下部など下方照明可
- ・電源供給可(100V/200V)
- ・連続運転時間約26h

1. 派遣可能な災害対策用機械

(3) 通信確保、情報収集支援

①衛星通信車



- ・動画送受信可
- ・通話回線確保可
- ・南方仰角40度要確保
- ・連続運転時間約30h~48h

②Ku-SAT



- ・準動画送受信可
- ・通話回線確保可
- ・南方仰角40度要確保
- ・連続運転時間約4~11h※1

公共BB



- ・動画送受信可
- ・通話回線確保可
- ・通信距離約5km(見通し外)
- ・連続運転時間約4~11h 2

iRAS



- ・動画送受信可
- ・通話回線確保可
- ・通信距離約30km(見通し)
- ・連続運転時間約2h 1

1 発電機の連続稼働時間による。
2 バッテリー交換により24時間稼働可能。

(4) 現地対策本部、待機支援

①対策本部車(拡幅型)



- ・10名程度の現地対策本部室
- ・衛星電話、TV受信
- ・電源供給可(100V/200V)
- ・連続運転時間約50h

②待機支援車(9床式)



- ・9名分の待機室
- ・衛星電話、TV受信
- ・電源供給可(100V/200V)
- ・連続運転時間約30h

③待機支援車(バス型)



- ・8名分の待機室
- ・衛星電話、TV受信
- ・電源供給可(100V/200V)
- ・連続運転時間約40~60h

1. 派遣可能な災害対策用機械

(5) 応急橋梁支援

① 応急組立橋 (B活荷重 40m 2車線)



- ・16m～40m選択可
- ・架設用クレーン必要
(T/C200t程度)※条件による
- ・輸送用トラック必要
- ・架設時間約40h(上部工のみ)

② 応急組立橋 (B活荷重 40m 1車線)



- ・16m～40m選択可
- ・架設用クレーン必要
(T/C200t程度)※条件による
- ・輸送用トラック必要
- ・架設時間約21h(上部工のみ)

(6) 無人施工支援

① 遠隔操縦分解型バックホウ (1.0m³)



- ・遠隔操縦可
- ・グラップルソー、ブレーカー可
- ・輸送用トレーラ、特車許可必要
- ・分解組立輸送可
(分解約16h、組立約16h)
- ・分解組立時クレーン必要
- ・連続運転時間約8h

② 遠隔操縦分解型バックホウ (0.5m³)



- ・遠隔操縦可
- ・グラップルソー、ブレーカー可
- ※上記装置は遠隔操縦不可
- ・輸送用トレーラ、特車許可必要
- ・分解組立輸送可
(分解約16h、組立約24h)
- ・分解組立時クレーン必要
- ・連続運転時間8h

1. 派遣可能な災害対策用機械

(7) 緊急調査支援

① 橋梁点検車 (歩廊式)



- ・歩廊展開範囲
幅15m
- ・1車線規制必要

② 橋梁点検車 (バケット式)



- ・バケット長展開範囲
上方16m
下方17m
幅15m
- ・1車線規制必要

③ 水中探査装置



- ・遠隔有線誘導
- ・水中映像撮影・録画
- ・水深140mまで
- ・濁度10PPM以上の
透明度が必要
(濁水流入がない
河川程度)
- ・流速0.45m/s以下

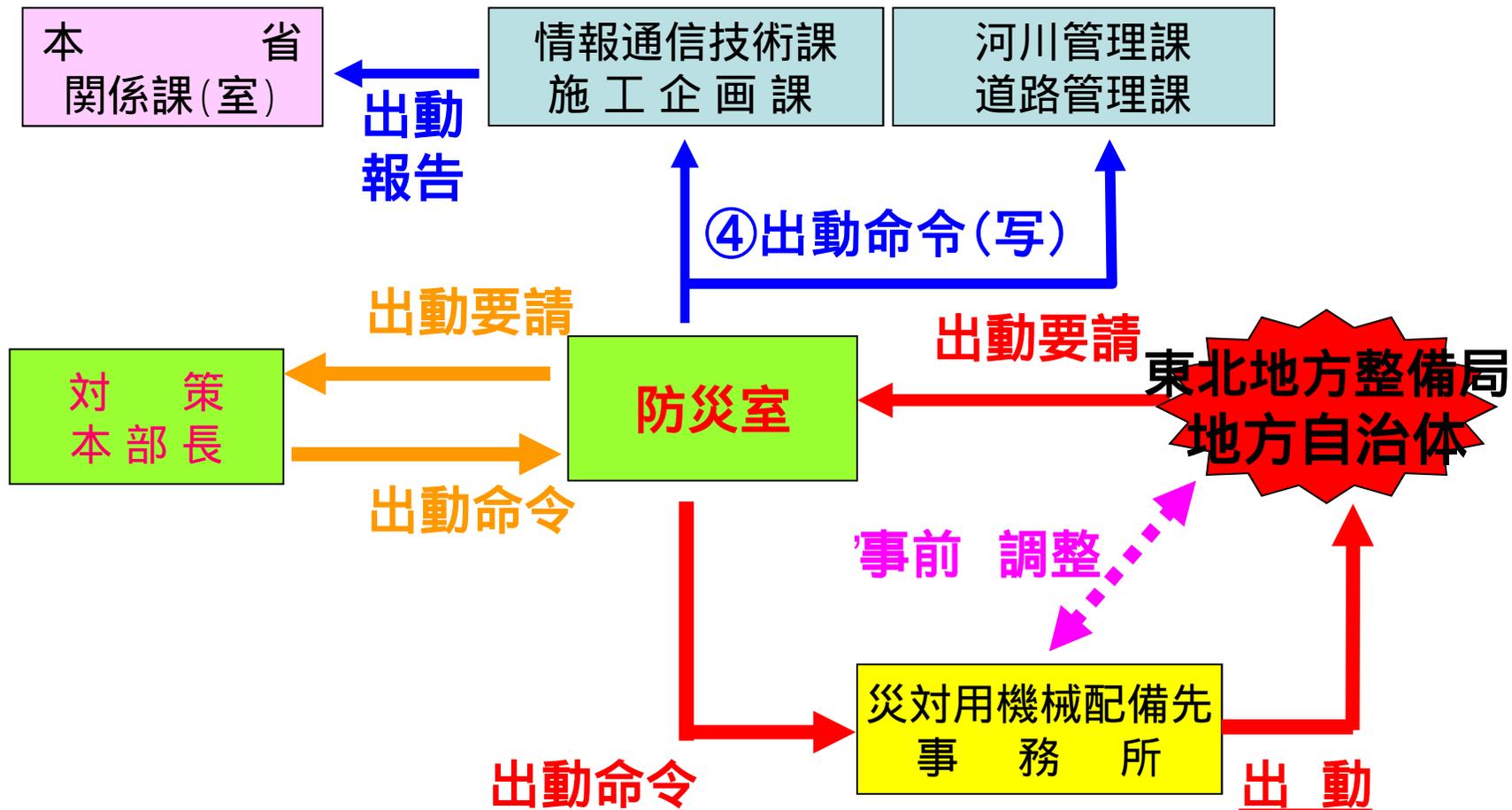
④ 防災対策ヘリコプター (みちのく号)



- ・仙台空港駐機
- ・乗客16名まで
- ・映像撮影・録画
- ・映像配信
本局、各県庁、
東北方面総監部、
海保二管本部など
- ・夜間調査不可
- ・気象条件あり
(降雨、降雪、視界不良)

2. 要請手順

災害時の要請フロー



3. 要請前に確認すること

- (1) 派遣目的、優先度
派遣目的、配備目的を確認する。
要請箇所が多数発生した場合、派遣優先度を定める。
背後地が住宅等 > 農耕地など
派遣目的が特定の業を営む者だけが対象となっていないか確認する。
- (2) 現場条件
要請する災害対策用機械の稼働に必要な条件を満たしているか
夜間作業が想定され、派遣先に照明がない場合、照明車の手配も検討する。
現場条件が明らかにならない場合は、
 - a. 要請者へ現場確認を依頼
 - b. TEC-FORCEの派遣を要請
- (3) 現場管理体制
原則、現場の状況確認、作業管理、撤収判断は要請者である。
- (4) 応援機械の費用負担
自治体支援 原則、要請者へ運転に係る費用負担が生じることを説明する。

(基本)	運搬・設置 (国負担)	運転・移設・撤去 (要請者負担)	運搬 (国負担)
(応急組立橋)	搬出・運搬・架設・撤去・運搬・搬入 (要請者負担)		

貸与機械・通信設備の使用料は無償。
貸与期間中の燃料、要員の賃金等は、貸与を受けた機関が支払うものとする。
ただし、協議した結果、合意が得られた場合はこの限りでない。

3. 要請前に確認して欲しいこと

【取扱注意】

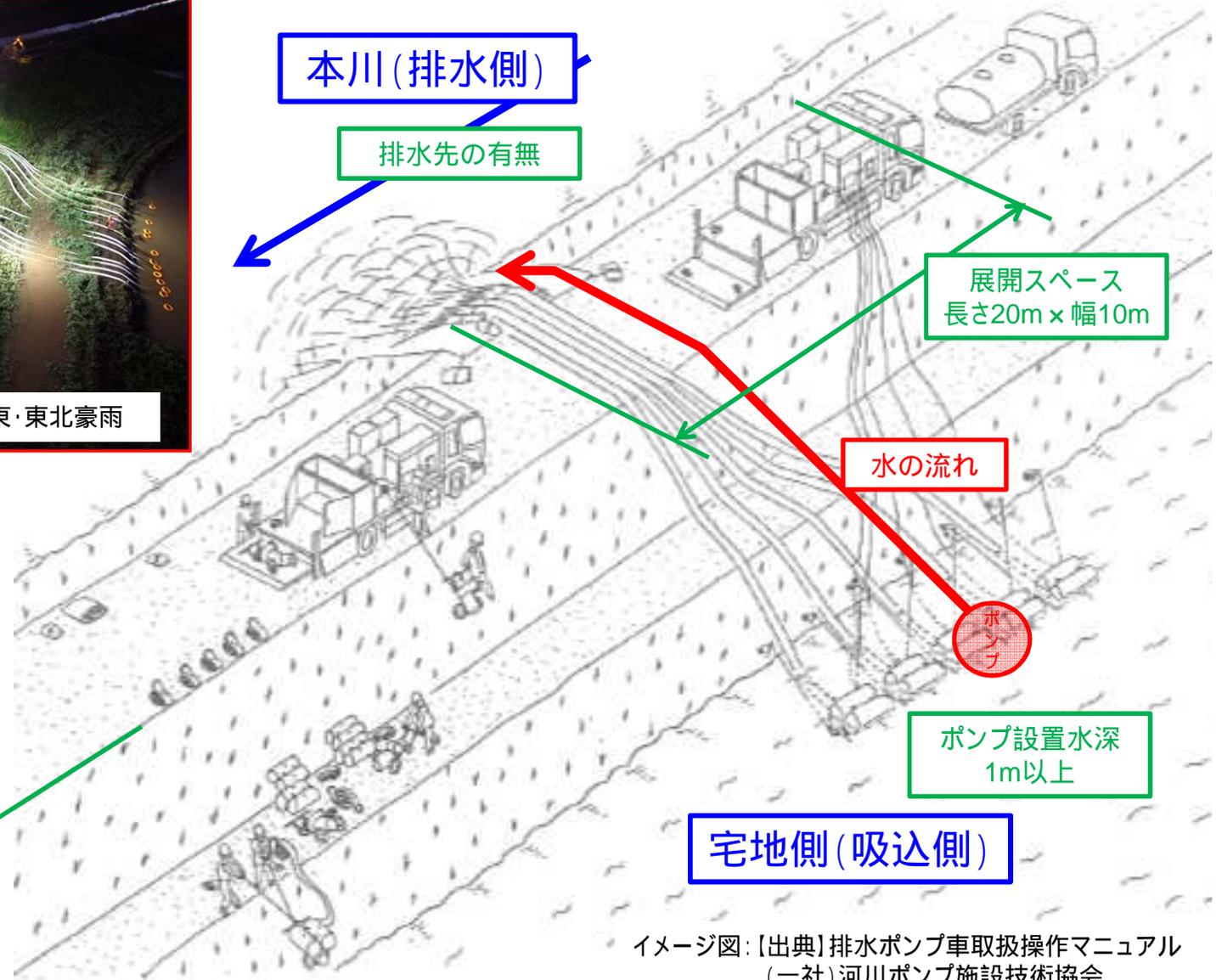
【参考】災害対策用機械派遣にかかる概算費用

機械名	単位	金額(円)	備考
排水ポンプ車	日・台	1,000,000	24h稼働
照明車	日・台	250,000	12h稼働
路面清掃車	日・台	400,000	12h稼働(8-20時)
散水車	日・台	300,000	路面清掃車セット、12h稼働

実作業分のみ概算費用であり、派遣元の契約形態等により費用が異なる。
上記、概算費用にはオペレータを上記時間待機(拘束)、燃料費を含んでいる。
排水ポンプ車のオペレータは5から6人で算定している。
現場条件により費用の増減が生じる。
機械設置後の移設、撤去費用は、別途、要請者が負担する。

3. 要請前に確認すること

排水ポンプ車による排水イメージ



イメージ図: [出典] 排水ポンプ車取扱操作マニュアル
(一社)河川ポンプ施設技術協会

